

# 不当な訴訟を退け、 党市議団の事実上完全勝利



2012年8月、成臨興業の不法投棄を刑事告発。  
記者発表する党市議団と代理人弁護士

不法投棄については、2012年8月、党市議団は市民から寄せられた、宮ヶ谷処分場での不法投棄の現場を捉えた動画

映像を公表。姫路市に対し速やかに行政処分を発令し、刑事告発するよう求めましたが市は応じませんでした。

そのため、成臨興業が宮ヶ谷処分場へ①搬入不可品目を大量に受け入れ埋め立てたこと、②姫路市の立ち入り検査を前に、搬入不可品目を掘り返し、処分場内の別の場所に隠蔽したこと——などについて市民が刑事告発し、代理人弁護士と党市議団が記者会見でその内容を公表しました。

これに対し、同社は、「刑事告発した内容を公表した日本共産党姫路市議団ニュースと入江次郎ブログは事実無根であり名誉毀損にあたる」として、損害賠償を求める訴えを起こしました。

党市議団は、審理の過程で搖るがぬ証拠を次々と裁判所に提出し、その結果、原告である同社は敗訴を恐れ結審前に自ら損害賠償請求を取下げ、党市議団の事実上完全勝利で裁判は終りました。

## 違法状態にある宮ヶ谷処分場に 太陽光パネルを設置？

また、成臨興業は「宮ヶ谷産業廃棄物最終処分場に太陽光パネルを設置し、その事業費用で廃棄物撤去費用を捻出したい」と、兵庫県と姫路市に届け出しています。同社は既に地域住民からの信用が失墜しています。違法状態にある宮ヶ谷処分場での太陽光パネル設置は社会道義的にも、市民感情的にも住民の理解は得られないのではないかでしょうか。



7月10日、成臨興業が刑事告発を受けたことをふまえ  
「廃棄物撤去の確実な実施のためのさらなる指導強化」と「太陽光パネル設置は住民理解を得られない」と、県・市へ申し入れする正面右から苦瓜、谷川各市議、入江県議、森村各市議、金田党国会議員団兵庫事務所長

## 宮ヶ谷処分場の教訓活かし、 速やかな行政処分と刑事告発を

成臨興業の悪質で不誠実な対応はいまでもありませんが、姫路市の対応の遅れが不正規模を拡大させてきたことも重大です。この問題とは別に、現在姫路市内では「廃棄物ではなく有価物だ」と言って廃棄物か有価物かわからない物が山積みで拡大して

いる事案も発生しています。姫路市は成臨興業・宮ヶ谷処分場の教訓をいかし、不正が拡大するまえに速やかな行政処分と刑事告発をすべきです。

引き続き、住民の暮らし、環境を守るために住民の皆さんと力合わせて頑張ります！

夢前町での産廃  
処分場建設計画は  
事実上の中止に



2007年頃から成臨興業が新たな大規模産業廃棄物最終処分場建設計画を進めていた姫路市夢前町では、住民が集めた15万筆を上回る建設反対署名や、市議団が同社の不法投棄事案を次々と議会で暴露したことによって、事実上計画は、中止に。

